

企画展観覧料金 () 内は団体料金

一般 200円 (140円) | 小・中学生 100円 (70円)

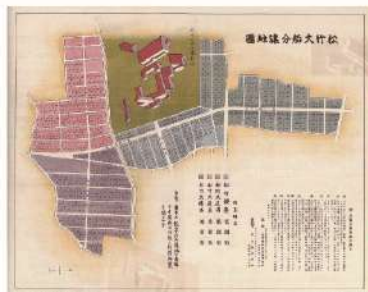
昭和11年、東京・蒲田から大船の地へ映画人の一団が、夢と希望を抱いてやってきました。そこは松竹大船撮影所、その後、多くの名作を生んだ「夢の工場」でした。笑いあり涙ありのストーリーで庶民生活を描いた作品群は「大船調」といわれ、老若男女問わず親しまれたその作風で、日本映画を牽引してきました。そして、銀幕を彩った華やかなスター女優たち、名優、名監督、多くのスタッフが活躍し、「映画」を生きたその場所には、それぞれの「物語」が生まれました。その「物語」に耳を傾ければ、日本映画の様々な魅力が溢れ出てくることでしょう。

本企画展は鎌倉ゆかりの松竹大船撮影所が生んだ名作の数々を、映画資料でご覧いただくとともに、田園都市構想をもとに成立した撮影所の知られざる側面を、貴重な郷土資料でご紹介します。そして、その歴史を語り継ぐ名作、15作品を上映します。ぜひお楽しみ下さい。

協力：松竹株式会社、鎌倉市中央図書館近代史資料室、東京国立近代美術館フィルムセンター



↑「紀ノ川」(1966年)ポスター



↑「松竹大船分線地図 昭和10年9月21日」鎌倉市中央図書館近代史資料室蔵 『もず』(1961年)『秋刀魚の味』(1962年)スチートポスターへ↑

映画鑑賞料金 ※観覧もあわせてご覧いただけます。一般 800円 / 小・中学生 400円 (記念館窓口、島森書店(鎌倉店)、たらば書房にてチケット販売)

暖流

上映日：4月8日(火)～10日(木)
チケット発売 3月15日(土)



1939年/124分(再編集版)/白黒/35mm/原作：岸田露士 監督：吉村公三郎
出演：高峰三枝子、水戸光子、佐分利信、徳大寺伸

2日連続 4月8日 午前10時30分 午後2時	1日連続 4月9日 午後2時	1日連続 4月10日 午後2時
----------------------------------	----------------------	-----------------------

大病院を舞台に、美貌の令嬢、青年事務長、事務長に片思いの看護士、令嬢に横恋慕する医師らの葛藤が繰り広げられる。新進の吉村監督が斬新な演出で新風を吹き込んだ松竹メロドラマの秀作。

事件

上映日：4月11日(金)～13日(日)
チケット発売 3月15日(土)



1978年/138分/カラー/35mm/原作：大岡昇平 監督：野村浩太郎
出演：松坂慶子、大竹しのぶ、永島敏行、佐分利信

2日連続 4月11日 午前10時30分 午後2時	1日連続 4月12日 午後2時	1日連続 4月13日 午後2時
-----------------------------------	-----------------------	-----------------------

美貌のスナックのママが若き工具に被害され、ママの妹とのもつれも明かされる。複雑な家庭環境と人間関係の物語を、松坂の熱演と当時まだ新人だった大竹の演技が注目された。(12日上映後アフタートークあり)

映画鑑賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

映画鑑賞料金

映画鑑賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

一般 800円 | 小・中学生 400円

《記念館窓口、島森書店(鎌倉店)、たらば書房にてチケット販売》

わが生涯のかまやける日 上映日：4月22日(火)～24日(木)

チケット発売 3月15日(土)



1948年/101分/白黒/35mm 監督：吉村公三郎
出演：山口淑子、森雅之、滝沢修、宇野重吉

2日連続 4月22日 午前10時30分 午後2時	1日連続 4月23日 午後2時	1日連続 4月24日 午後2時
-----------------------------------	-----------------------	-----------------------

李香蘭が山口淑子として本格的に映画出演した第一作。ダンサーとなった令嬢と、用心棒に身を持ち崩した元青年将校との異色メロドラマ。山口の美貌が話題を呼んだ。

君の名は(総集篇) 上映日：4月25日(金)～27日(日)

チケット発売 3月15日(土)



1953-54年/185分/白黒/35mm/原作：菊田一夫 監督：大庭秀雄
出演：岸恵子、佐田啓二、月丘夢路、淡島千景

1日連続 4月25日 午後1時	1日連続 4月26日 午後1時	1日連続 4月27日 午後1時
-----------------------	-----------------------	-----------------------

原作のNHK連続ラジオドラマは、放送時に銭湯の女性風呂がカラになるとの現象を生んだ。「数寄屋橋」の逢瀬、「真知子巻き」が流行し、岸と佐田は一躍スターの座に。

女の園

上映日：5月5日(月・祝)、6日(火・祝)、8日(木)
チケット発売 4月19日(土)



1954年/141分/白黒/35mm/原作：阿部知二 監督：木下惠介
出演：高峰三枝子、高峰秀子、岸恵子、久我美子 東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵

1日連続 5月5日 午後2時	1日連続 5月6日 午後2時	1日連続 5月8日 午後2時
----------------------	----------------------	----------------------

良妻賢母型の教育方針に貫かれた女子大学を舞台に、一学生の恋愛と自殺を契機に改革に立ちあがる学生たちを描いた木下監督の代表作。当時の松竹スター女優達の競演に注目。

※6月の上映日程は、次回チラシにてご案内いたします。

男はつらいよ 寅次郎相合傘 上映日：5月9日(金)～11日(日)

チケット発売 4月19日(土)



1975年/91分/カラー/35mm 監督：山田洋次
出演：渥美清、信貴千恵子、浅丘ルリ子、船越英二

2日連続 5月9日 午前10時30分 午後2時	1日連続 5月10日 午後2時	1日連続 5月11日 午後2時
----------------------------------	-----------------------	-----------------------

「寅次郎忘れな草」に続き浅丘ルリ子扮するリリーが再登場の第15作。寅さんとリリーとの再会と別れが「相合傘」の名場面とともに描かれる。全48作品に及ぶ国民的人気シリーズの一作。

紀ノ川

上映日：5月20日(火)～22日(木)
チケット発売 4月19日(土)



1966年/166分/カラー/35mm/原作：有吉佐和子 監督：中村登
出演：司葉子、若下志保、東山千栄子、田村高廣

2日連続 5月20日 午前10時30分 午後2時	1日連続 5月21日 午後2時	1日連続 5月22日 午後2時
-----------------------------------	-----------------------	-----------------------

紀州の旧家に嫁ぎ、難産辛苦する主人公・花と、反発しながらもその栄枯盛衰を受け継いで行く長女・文緒。明治・大正・昭和の三代にわたる大河ドラマの秀作。

男はつらいよ 寅次郎頼帳れ! 上映日：5月23日(金)～25日(日)

チケット発売 4月19日(土)



1977年/95分/カラー/35mm 監督：山田洋次
出演：渥美清、中村雅俊、大竹しのぶ、藤村泰保

2日連続 5月23日 午前10時30分 午後2時	1日連続 5月24日 午後2時	1日連続 5月25日 午後2時
-----------------------------------	-----------------------	-----------------------

若者同士の「恋の指南役」となった寅さんの奮闘を描くシリーズ第20作。マドンナに藤村泰保、その弟で純朴な青年を演じた中村雅俊、寅さんとの友情も光る一作。

雨・音の不具合等により場合によって上映素材の変更がありますことをご了承ください。

一般 800円 | 小・中学生 400円

《記念館窓口、島森書店(鎌倉店)、たらば書房にてチケット販売》

もず

上映日：6月3日(火)～5日(木)

チケット発売 5月17日(土)



1961年/95分/
カラー/35mm/
原作・脚色：
水木洋子
監督：
渋谷実

出演：
淡島千景
有馬稲子
山田五十鈴
乙羽信子

仲居奉公の母のもとに離婚した娘が同居する。母娘ゆえのいがみ合いが絶えない中で母の死後その深い愛情を知らされる。女性心理を描いた水木洋子のオリジナル。

2回上映	1回上映	1回上映
6月3日	6月4日	6月5日
午前10時30分		
午後2時	午後2時	午後2時

キネマの天地

上映日：6月20日(金)～22日(日)

チケット発売 5月17日(土)



1986年/135分/
カラー/35mm
監督：
山田洋次

出演：
中井貴一
有森也実
渥美清
松坂慶子
倍賞千恵子
松本幸四郎

松竹大船撮影所50周年記念作品。大船の前身となる蒲田撮影所を舞台に、映画に夢と情熱をかけた活動屋たちと、スター女優への道を歩む少女の姿を描く。

2回上映	1回上映	1回上映
6月20日	6月21日	6月22日
午前10時30分		
午後2時	午後2時	午後2時

香華〈前篇/後篇〉

上映日：6月6日(金)～8日(日)

チケット発売 5月17日(土)



1964年/201分/
白黒/35mm/
原作：
有吉佐和子
監督：
木下恵介

出演：
岡田茉莉子
乙羽信子
田中絹代
杉村春子

虚栄心が強く男好きな母と、正反対な性格ながらじっと母に仕える娘。色街の世界を舞台に熾烈な女の葛藤を描いた年代記もの。岡田と乙羽の熱演が話題を呼んだ。

1回上映	1回上映	1回上映
6月6日	6月7日	6月8日
午後1時	午後1時	午後1時

春琴抄 お琴と佐助

上映日：6月24日(火)～26日(木)

英語字幕付き上映

チケット発売 5月17日(土)



1935年/100分/
白黒/35mm/
原作：
谷崎潤一郎
監督：
島津保次郎

出演：
田中絹代
高田浩吉
斎藤達雄
藤野秀夫

幼少時に盲目となり琴の修行に励む大店の娘と、身の回りの世話をする奉公人との愛情を描いたもの。若き日の田中の代表作であり、谷崎の名作を映画化した最初の作品。

1回上映	1回上映	1回上映
6月24日	6月25日	6月26日
午後2時	午後2時	午後2時

お早よう

上映日：6月17日(火)～19日(木)

チケット発売 5月17日(土)



1959年/94分/
カラー/35mm
監督：
小津安二郎

出演：
佐田啓二
久我美子
笠智衆
三宅邦子
設楽幸嗣
島津雅彦

同じ間取りの建売住宅街を舞台に、大人たちの平凡な日常生活と、反抗期に入った子供たちがユーモアたっぷりに描かれる。家屋内の人の出入りの描写が実に小津的である。

2回上映	1回上映	1回上映
6月17日	6月18日	6月19日
午前10時30分	午前10時30分	
午後2時	山内静夫さんトークイベント	午後2時

学校

上映日：6月27日(金)～29日(日)

チケット発売 5月17日(土)



1993年/128分/
カラー/35mm
監督：
山田洋次

出演：
西田敏行
竹下景子
萩原聖人
中江有里
裕木奈江
田中邦衛

夜間学校を舞台に、名物教師と老若男女、様々な境遇をもった生徒たちとの交流が描かれる。人生そのものが“学校”であることを謳った山田洋次監督の代表作。

2回上映	1回上映	1回上映
6月27日	6月28日	6月29日
午前10時30分		
午後2時	午後2時	午後2時

画・音の良好でないものがあります。場合によって上映素材・作品の変更がありますことを予めご了承ください。



6月18日(水)

午後2時開始

チケット発売 5月17日(土)

一般 1000円 小・中学生 500円

「小津安二郎監督と『お早よう』あれこれ」 聞き手：大場正敏(当館総括責任者)

山内静夫さん

(元映画プロデューサー)

1948年、松竹株式会社入社。56年、『早春』より小津安二郎監督作品のプロデューサーとなり、『彼岸花』、『秋日和』なども担当するとともに、大船撮影所の隆盛に貢献した。また、2004年から12年まで鎌倉文学館館長を務めている。現鎌倉同人会理事長。